



SAP Ariba 

# 機能の概要

## Ariba Network Purchase Order API

Franz Uhr, SAP Ariba  
一般提供予定: 2019 年 11 月

CONFIDENTIAL

# 機能の概要

## 説明: Ariba Network Purchase Order API

導入の難易度  
対象エリア

ロータッチ/容易  
グローバル

### 今までの課題

現在、バイヤーが Ariba Network から注文書のヘッダー情報と品目情報を抽出するための方法がありません。

### SAP Ariba で問題解決

API により、バイヤーは、Ariba Network から直接注文書のヘッダー詳細および品目詳細を取得し、外部で利用できるようにすることができます。

API 経由で利用できる情報は以下のとおりです。

- 注文書ヘッダーデータ
- 注文書品目データ

### 主なメリット

Ariba Network からの注文書データは、バイヤーにとって非常に大きな価値があります。多くの場合、SAP Ariba がすでに標準統合している SAP ソリューションとは異なることもあるため、外部のツールまたはアプリケーションにこのようなデータを入力することにより大きなメリットが生まれます。

API によって、既存のアプリケーションを拡張するとともに、新規の革新的アプリケーションを構築するためのデータアクセスメカニズムが標準化されます。

### 対象ソリューション

SAP Ariba APIs  
SAP Ariba Developer Portal  
SAP Ariba Network

### 関連情報

この機能は、該当ソリューションを使用しているすべてのお客様に対して**自動的にオン**になっており、すぐに使用できます。

組織で OAuth 認証を使用する場合、お客様は以下の条件を満たしている必要があります。

- SAP Ariba Developer Portal にすでに登録されている。
- SAP Ariba Developer Portal で、本稼動アクセスのためのクライアントアプリケーションおよび要求を作成する。承認されたら、クライアントアプリケーションで API にアクセスできます。

### 前提条件と制限事項

この API を呼び出すことができるのは、有効な Ariba Network ID を持つバイヤーのみです。Ariba Network でこの ID を認証する必要があります。

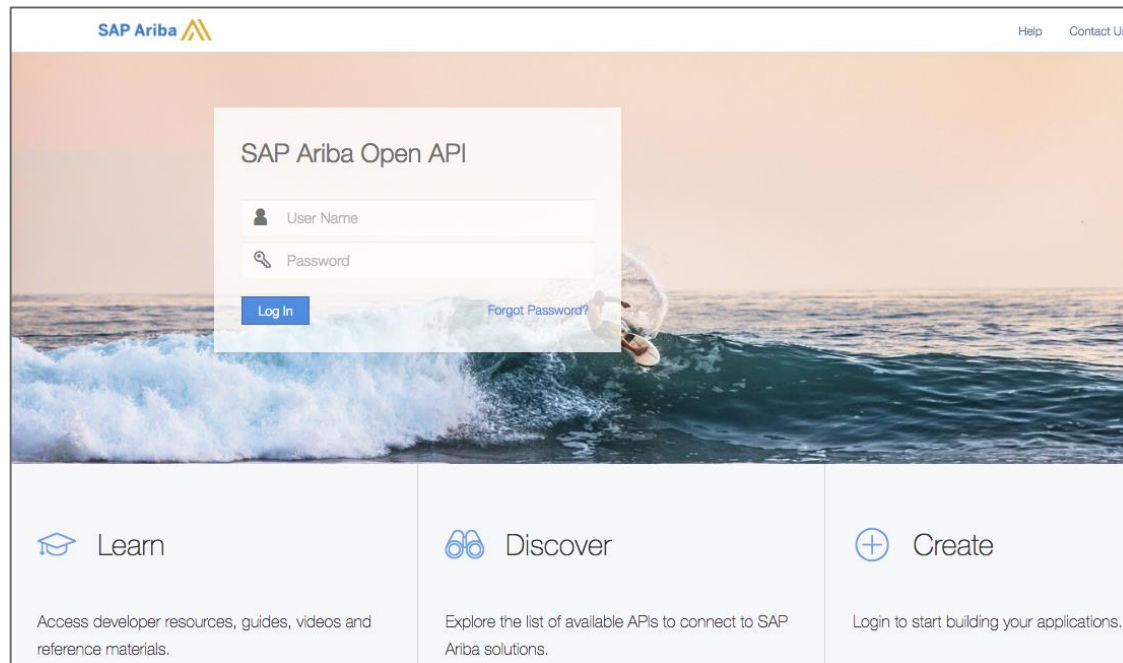
ユーザーは、SAP Ariba Developer Portal でオンボーディングプロセスを完了する必要があります。予想される OAuth 認証にアプリケーションが準拠していることを確認します。SAP Ariba APIs 管理によって承認されているアプリケーションのみが OAuth 認証を実行することができます。

管理者は、OAuth クライアント ID を各自のプロファイルに追加する必要があります（次ページ参照）。

# 機能の概要

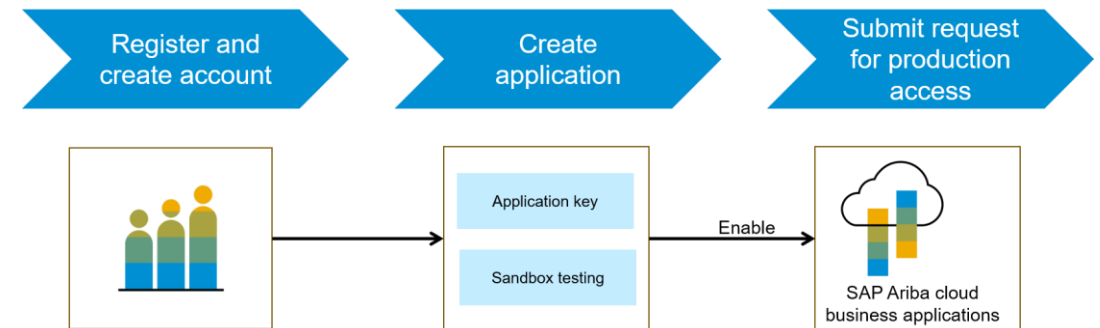
## 説明: Ariba Network Purchase Order API

### Ariba Network Purchase Order API を使用するアプリケーションを開発する方法



<https://developer.ariba.com/api/> に移動します。

[Learn] セクションを確認し、アプリケーションの開発方法に関する詳細を理解します。  
一般的に、アプリケーションを開発するプロセスには以下のステップが含まれます。



1. Developer Portal で登録を行ったら、[Ariba Network] の下で利用可能な API を調べ、「Planning collaboration API for Supply Chain Collaboration」を検索すると、この API に関する詳細な説明を入手できます。
2. 新しいアプリケーションを作成し、アプリケーションを有効化してアプリケーションキーを取得します。
3. <http://connect.ariba.com> でサービスリクエストを提出して、作成したアプリケーションの「本稼動アクセス」を申請する必要があります。申請が承認されると、アプリケーションの OAuth クライアント ID が生成されます。
4. バイヤー管理者として、OAuth クライアント ID をプロフィールに追加します（次のページを参照）。

# 機能の概要

## 説明: Ariba Network Purchase Order API

### バイヤー管理者のプロファイル設定

Ariba Network バイヤーアカウントで、ダッシュボードの右上隅にあるアカウント名をクリックします。次に、[設定] ページで [\[プロフィールの管理\]](#) をクリックして、[\[API クライアント ID 設定\]](#) を選択します。

#### Configuration

Review and update company settings such as contact information, order ro

- Personal Information
- Locale Settings
- Business Application IDs and End Points (cXML and OData Setup)
- Cloud Integration Gateway Setup
- Company Profile
- Company Business Information
- Upload Company Logo
- Extended Profile Settings and Information
- Additional Information
- Notifications
- Default Transaction Rules
- Currency Precision and Rounding
- Country-based Invoice Rules
- Supplier Self-Nomination
- Payment Profile
- Ariba Discount Management
- Catalog Validation Preferences
- Document Number Preferences
- Payment Integration Toolkit
- Quote Automation
- Tax Adjustment Configuration
- Early Payment Limits
- Manage Business Units
- Supply Chain Financing Enablement
- API Client ID Configuration**
- Messaging Configuration
- Manage Handling Unit Profile for Ship Notice

バイヤー管理者またはサプライヤ管理者がこのページに OAuth クライアント ID を追加すると、そのクライアント ID を指定する API が認証され、該当する ID に関連付けられているデータを Ariba Network から取得することができます。

Ariba Network

API Client ID Configuration

Client ID

Status

Modified Date

Modified By

Active

2019-03-13 01:24:24  
America/Los\_Angeles

solexpadmin@lobapgbuyer1.com

Delete

Add

Save

Close

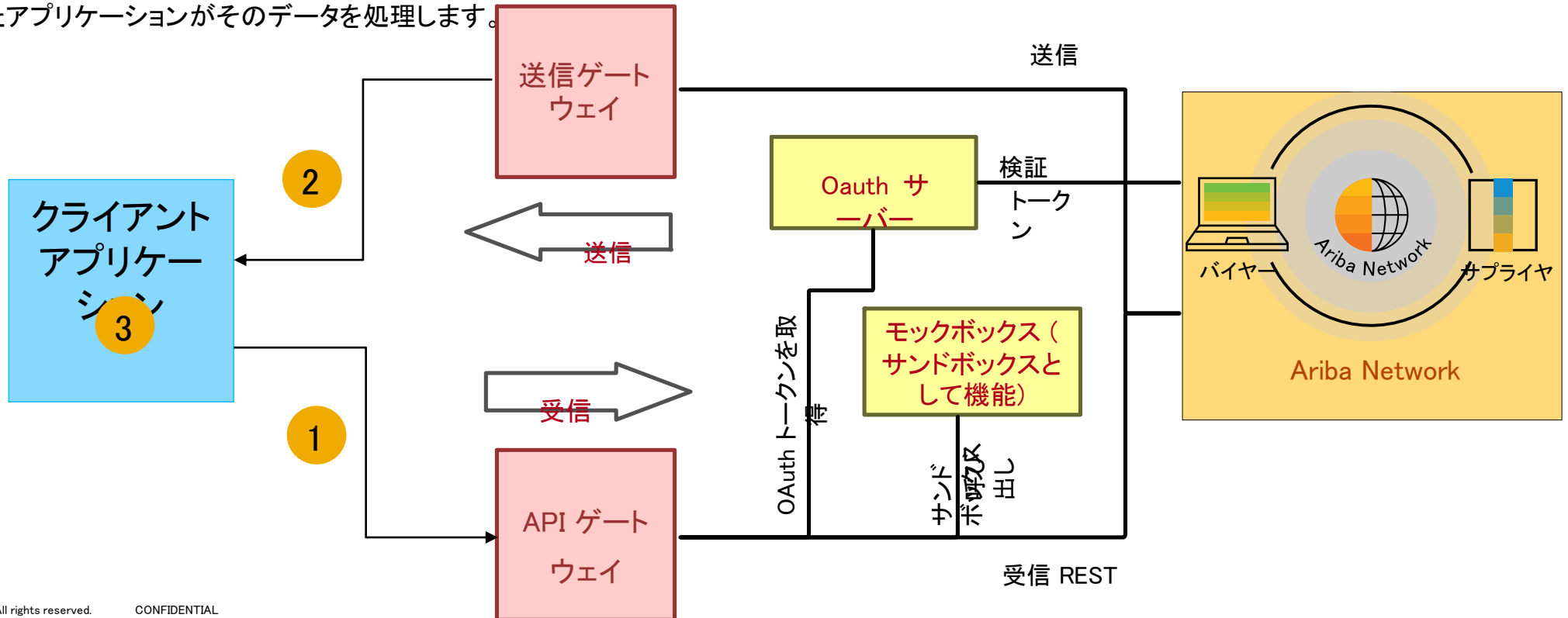
# 機能の概要

## 説明: Ariba Network Purchase Order API

この API は、さまざまな目的のためにバイヤーがバックエンドシステムと Ariba Network からのデータを組み合わせてレポートを生成するというシナリオで役に立ちます。

ワークフロー:

1. クライアントアプリケーションが、[/headers](#) API エンドポイント呼び出して注文書のヘッダーデータを、[/items](#) API エンドポイント呼び出して注文書の品目レベルデータをそれぞれ取得します。
2. API がクエリに応答し、一致するすべてのレコードを含む JSON データセットを書式設定済みの構造で返します。
3. データを受け取ったアプリケーションがそのデータを処理します。



# 機能の概要

## 説明: Ariba Network Purchase Order API

### パラメータ

API 要求では、要求 URL で複数のパラメータを渡すことができます。

・ヘッダーパラメータでは、次の構文を使用します。

*header\_parameter eq value*

・\$filter クエリパラメータでは、次の構文を使用します。\$filter に対して複数のパラメータを使用する場合は、間に and というワードを挿入します。

*\$filter=parameter eq value and parameter eq value*

・その他のクエリパラメータでは、以下の構文を使用します。\$filterとほかのクエリパラメータの間はアンパサンド (&) で区切ります。

*\$filter=filter\_parameter eq value&query\_parameter=value&query\_parameter=value*

利用可能なパラメータと構文については、API に関するドキュメントも参照してください。

### サンプルコード

以下のサンプルコードでは、[{{runtime\\_url}}](#) を、SAP Ariba Developer Portal のこの API の Discovery ページにある Environment Details テーブルに記載されている、目的の実行時 URL に置き換えてください。

以下の例では、orderstatus 1234 で North10B documentNumber に関する注文書ヘッダーデータが取得され、1 ページにつき 15 レコードが表示されます。